

団体	Sayama Second Stage
----	---------------------

(1) 概要

日時	2017年 8月18日 18時30～20時30分 (奥富・堀兼・新狭山地区編)
場所	新狭山公民館 ホール
参加人数	31名+運営者9名(講師2名 事務局4名 スリーエス3名)
講師	合同会社 Active Learners 共同代表 山ノ内 凜太郎 ・ 米元 洋次
テーマ ゴール	自分の地区の課題はなんだろう 「自分の地区の課題が何なのか、はっきりしている」「また会いたい」と思っている
流れ	マインドセット⇒自己紹介アイスブレイク⇒個人ワーク⇒グループワーク⇒全体共有⇒ふりかえり

(2) 報告事項

グループワークから拾った意見 (箇条書き)

<模造紙>

○・・・地区住民で解決 ●・・・外部の協力が必要

【1. 堀兼地区】

〈すぐに解決すべき〉

- ポイ捨てはしない。畑などに缶、ペットボトルなどが投げ捨てられている。
- 地域の問題をすぐに外部に解決策を求めてしまう。
- 子供会、自治会の担い手が減りつつある。
- 農業の振興が低い
- 少子化による生徒数の減少。
- 地域活動に若い人が参加しづらい。
- 地域の行事に若い人があまり参加しない。
- 昔から活動している人たちが「今まで通りに無理にでもやろうとする」ことが問題。
- いい活動をしていても地域の人に周知できていない。
- 朝の登校見守りを月に回数を決めてやる必要がある。
- 変質者がよく出没する。
- 高齢者の困った方を見つけたら声をかけるなど近所付き合いが必要。
- 高齢者の集いの場、活躍する場がない。
- 世代間での交流が少ない。
- 知り合いばかりで恥ずかしいことができない。
- 個々が利己的に行動することが多い。
- 転入者は人付き合いを嫌っている。
- 住んでいるマンションの住民の顔が見えない。
- 若い夫婦、新しい転入者が少ない。
- 公共交通機関が不足していて不便。
- 夜道に暗いところがある。
- 車やトラックがビュンビュン走っていて危ない。
- 大型店、娯楽施設、飲み屋が無く、不便。
- 近隣市に比べ、知名度が低い・観光の目玉がない。

〈ゆくゆく解決すべき〉

- 地域に合ったイベントを実施してほしい。
- 小さなイベントをするのではなく大きなフェスをしてほしい。
- 真夜中まで営業しているゴルフ練習場がない。
- 買い物できる施設がない。
- 駅が遠いし、バスも少ない。
- 夜道が暗い。
- 高齢化、少子化が進み、地区で人口の偏りがある。

【2. 奥富地区】

〈すぐ解決すべき〉

- 買い物など車がないと不便・朝、夕の通学路での交通量が多いため安全面が心配。
- 家と家が離れていて話に出るにも足が必要。
- 夜の道が暗くて危ない・用水路に落ちそう。
- 同級生力、仲間意識が高いので一緒に参加して一緒に辞めてしまう。
- 新しく転入者がいてもよくわからない。
- 親の老後が心配・介護、介護者の高齢化と孤立が問題。
- 地域福祉活動、農業、PTA 役員の後継者が不足。
- 福祉活動者が高齢化している。
- 色々な行事の参加者が固定されてしまっている。
- コミュニケーションが取れる場が少ない。

〈ゆくゆく解決すべき〉

- 買い物できるところが少ない。
- 道路が狭い。
- 自分たちの輪にほかの人が入るのが苦手。
- 優しいから見て見ぬふりしてしまう。
- 野良猫、タヌキ、ハクビシンなどが多く畑が荒らされる。
- 地区のホタル繁殖の活動の助成金が今年度からなくなって困っていた。
- 新旧の住民に交流の壁がある。
- 児童数が減少していることから、児童の声が聞こえない。
- 子どもたちの行事が昔より減少している。
- 50代、60代の人たちの行事の参加者が少ない。
- 老人クラブを作ったのにいつの間にかなくなっていった。
- 公民館の老朽化・自治会館の敷地が狭い
- 公民館2Fエレベーター空室？（?）

【3. 新狭山地区】

〈すぐ解決すべき〉

- 挨拶をする機会が少ない。
- 人のつながりが薄い・馴染みの店、客が少ない。
- 増加した高齢者が若者と交流する機会がない。
- 高齢者と若者、転入者と居住者などの交流の場を作る必要がある。
- 高齢者が日中、暇な時間があっても通う場がない。

- 子どもたちが集まれる、遊べる場が少ない。
- 自治会の加入率が下がっている・加入しているのも高齢者が多い傾向にある。
- 自治会役員が1年交代なので発展、引継ぎされないものが多い。
- 現役世代が地元にはいない世帯が多い・高齢者世帯が増えている。
- 働く世代の人が地区と関わる機会がない・地区活動に参加する人が固定されている。
- 個人情報保護の壁があって昔より地区の人のことを知ることができない。
- 歩きたばこ禁止区域での喫煙者がいること。
- 自分のまちのことを知っているつもりでも、そうでもない。
- 居酒屋が繁盛していない。
- 買い物をするときなど交通が不便（車が必要・バスが少ない、または無い地区もある）
- 空き家が多くなったことや、子どもが少なくなったことで寂しい。
- 川越狭山工業団地内に4千坪の倉庫ができるが、道路の渋滞問題が発生するの心配（?）

〈ゆくゆく解決すべき〉

- 地産地消を進める必要がある。
- 飲食店の閉店が目立つ。
- 自治会に加入しなくても困らないから入らないこと。
- 自治会の区分けがでこぼこで不便。
- 自治会は面倒くさいと思う。
- スポーツ少年団が少なくなってきている・そもそも子供が少なくなってきている。
- ひとり暮らしが増えてきている・同居する子どもたちが少ない。
- 地区のルールで敷地を分割できないので所得が多い高齢者しか転入してこない。
- 高齢化が進んだため、地区の担い手となる人が少ない。
- 高齢者と若者が一緒に参加できる、参加しやすいイベントが欲しい。
- 地域の人と工業地帯の人との交流が少ない。
- 自然に囲まれた空間が少ない・好き勝手に遊べる公園、広場が少ない。
- 圏央道が整備され最高の地域になっているのに、それに気づかず活かすことができない。
- 本田技研の一部移転に伴い、活気が感じられない。

<アンケート>

1. 今回の意見交換会に参加してどう思いましたか？

このような形の会はよい（意見が出しやすかった）

自治会の参加者が多いといい

地域に対する熱がない

参考になった

様々な方向（視点）から眺める必要を感じた

無理なことは無理

自分と考えが異なる

地元の方、近隣地区の方と意見交換、顔合わせが出来てよかった

少子高齢化、財政難などから協働の本質を話したかった

地域を見つめる必要性

時間が短く感じた

地域を愛している方がいてうれしかった

一緒に考えられたこと
地域で課題が異なり統一的な対応は難しい

2. あなたの住んでいる地域の課題は何だと思いましたか？

地域に対する意識をどう育てるか
学校教育につながるか？
地域全体としてもっと交流が図られれば
様々な年代とのつながり（交流の場）
新しい人と会話が出来てよかった
先を見て行動する
ふれあいの場を多く
なにから取り組むか、優先順位をつける調整
少子高齢化
自治会加入率の低下
人とつながるチャンス
地域活動に参加してもらおう工夫をし続ける必要がある
市の方向性がはっきりしない
それぞれの居場所づくり
情報の発信
新住民の意見を聞くこと
自治会活動を知ってもらう必要性
イベントを通じてまとまること
人間関係の希薄化
交通の不便
街灯が暗い
農業の活性化
大型スーパー
後継者

3. 他の地域の課題についてどう思いましたか？

狭山市全体に対する愛着を育てるには教育しかない（地元の人間と転入者との差を埋めるには）
生活者と外部との違い
地域の違い、重点の置くところが違う
他の地域から見て甘いと思うところがある
それぞれの課題がある（地域差が多い）
共通な課題が多い
地元で働き、生活し、家族と暮らしていける環境を
新狭山は、つながりが薄いと感じた
活動する人が同じ
特色と課題は一体
予算、アイデア スピード感
後継者の育成

4. 課題の解決に向けて何が必要だと思いますか？

教育と家族愛（郷土愛）
必要な情報の発信 わかりやすくタイムリーに
地域のつながり（人と人）、
関係機関の連携
各自の努力（行政の協力は望めない）
全体の最大公約部分から
お茶を飲む場を増やす
人を結びつけるための魅力、特徴を出す
市の横断的対応で
コーディネートの役割を担う人材
情報の収集、発信する人材と手段
広報活動（PR シティプロモーション）
地域をよくみること
楽しむこと
協働

5. 課題の解決にむけてあなたは何ができると思いますか？

教育の意見を行政（教育）にいかしたい
地域に様々な情報を発信していきたい
課題を言い続けること
自分の出来る限りの力を続けていく
ふれあいを大切に（つきあいを楽しむこと、コミュニティの向上）
またの機会に結びつきを深めることに取組みたい
地域を研究していきたい。
多くのつながりを作ること
方向性を統一する
育成カリキュラム